

# 清須市はるひ美術館 アートサポーター便り

平成 26 年 10 月 創刊号

編集：清須市はるひ美術館アートサポーター 広報チーム

アートサポーターは、清須市はるひ美術館の運営をサポートしながら、仲間たちと一緒に楽しくアートに親しんでいるボランティアグループです。活動も3年目に入り、今年度は「広報」を作ろうということになりました。今年<sup>けんけんがくがく</sup>は当美術館ができて15年です。これはやるしかない。各種広報を参考に、喧々諤々、力を合わせ何とか創刊号ができました。

## 【企画展】 生誕 100 年 前衛を駆け抜けた画家 岡田徹展

清須市はるひ美術館では、11月30日（日）まで、名古屋で活躍したシュルレアリスムの画家、岡田徹（おかだ・てつ、生没年：1914-2007年）の作品を紹介しています。

＝ 岡田徹ってどんな人？ ＝

岡田徹は名古屋生まれで、市内で画塾をされていたと聞き、がぜん興味がわいて画集を開きました。内容が多岐にわたっているので驚きました。そして、一見しただけでは、理解しにくいと思いましたが、何度も見ているうちに画面の美しさに気づき、早くナマで見たくくなりました。

＝ 学芸員さんに見どころを聞きました ＝

今回の展示は、岡田徹の生誕100年を記念した回顧展です。戦前の作品から最晩年までに手がけた代表的なシリーズが一通りそろって見られる貴重な機会となります。2007年と2014年にご遺族から計21点の作品を寄贈していただき実現しました。

ひとつの形が、よく見ると別の形にも見えてくる「ダブル・イメージ」の手法が面白いので、じっくりご覧になって探してみてください。

## アフター派それともビフォー派？

月1回、高北館長がアートにまつわる様々なエピソードを楽しく語る「館長アートトーク」があります。5月のテーマは愛知県美術館で開催中のシャガール展に合わせて「愛の画家シャガール、その幻想世界。」でした。生い立ち、人物像、時代背景と彼の永遠のテーマ「愛・幸福・平和」との関わりなど一層興味がわきました。トークを聞いてから行くもよし、行ってから聞くもよし。美術館に行くのが一層楽しくなりますよ！

※予定表は美術館窓口においてあります。

## 編集後記

- ・何もない所から作るのは大変でした。S
- ・手探りという感じでした。Y
- ・生みの苦しみ。少しずつ良くしていけばいい。K
- ・とりとめのない文になってしまいました。F
- ・便りが発行できて嬉しい。いろいろ発信していきます。乞う、ご期待！T